

問1 火山のふん火が起きたときに、火山から流れ出たり、広い範囲^{はんい}に降り積もったりするものはどれですか。

問2 地震^{じしん}が起きたときに発生することがある、火災、建物や道路がこわれること、津波^{つなみ}、山くずれなどのことをまとめて何と呼びますか。

問3 地層をつくっているれきや砂の角がとれて丸みを帯びていることから、地層をつくる原因となったと考えられる自然のはたらきは何ですか。

問4 大昔や、自分が生まれる前に地域でおきた地震^{じしん}について知りたいとき、どのような方法で調べることができますか。

問5 砂やどろが混ざった土を水に流しこんだとき、つぶの大きさ^{しずむ}と沈む速さにはどのような関係がありますか。

問6 火山がふん火することによって、よう岩で川がせき止められて湖ができたり、火山灰で田畑がうまったりして、大地のようすが変わることを何といいますか。

問7 砂岩は、どのようなものが固まってできた岩石ですか。

問8 れき、砂、どろなどが積み重なってできた、しま模様のようなものを何といいますか。

問9 火山灰のつぶを水できれいに洗ってから観察すると、どのような特^{とくちょう}徴をもつつぶが多く見られますか。

問10 流れる水のはたらきによって地層ができるとき、けずられたり流されたりしたものは、どこに広がって積もりますか。

問11 土地が流れる水によってけずられ、流され、海や湖の底に広がって積もり、それが積み重なって厚くなることでできるものは何ですか。

問12 でい岩は、どのようなつぶが固まってできた岩石ですか。

問13 どろなどの細かいつぶが固まってできた岩石を何といいますか。

問14 火山の噴火^{ふんか}によってふき出されたものが風に運ばれて積もってできた、角ばった石や小さなあながあいた石、結^{けっしょう}晶^{ふくま}などが含まれる地層を何といいますか。

問15 火山がふん火したときに、流れ出たよう岩が川をせき止めることによって新しくできるものは何ですか。

問16 津波^{つなみ}は、どのようなことが原因で発生する現象ですか。

答え合わせ・解説 No.5

問1	答え よう岩や火山灰	火山のふん火が起こると、火山からよう岩が流れ出たり、火山灰が広い範囲に降り積もったりします。
問2	答え 地震による災害	地震が起きたときに発生する火災や建物の破壊、津波、山くずれなどは「地震による災害」と呼ばれます。
問3	答え 流れる水のはたらき	地層の中のれきや砂の角がとれて丸くなっているのは、流れる水のはたらきによって運ばれ、地層がつくられたことを示しています。
問4	答え 博物館や図書館を利用したり、地域の人に話を聞いたりする。	過去におきた地震は、博物館や図書館にある古い記録を調べたり、地域の人から当時の様子を聞いたりすることで調べることができます。
問5	答え つぶの大きいものの方が早く沈む。	つぶの大きさのちがう土を水に流すと、つぶの大きいものの方が早く沈みます。
問6	答え 火山活動による大地の変化	火山がふん火して、流れ出たよう岩やふきだした火山灰によって大地のようすが変わることを「火山活動による大地の変化」といいます。
問7	答え 砂	砂岩は、砂が押し固まってできた岩石です。
問8	答え 地層	れきや砂、どろなどが積み重なってできたものを地層といいます。
問9	答え 角ばっているつぶや、表面に小さな穴のあるつぶ	火山灰のつぶには、角ばっているものや、表面に小さな穴があいているものが多いという特徴があります。
問10	答え 海や湖の底	流れる水によってけずられ、流されたものは、海や湖の底に広がって積もり、積み重なって地層になります。
問11	答え 地層	土地が流れる水によってけずられ、流されて、海や湖の底に積もり、積み重なって厚くなることで地層ができます。
問12	答え どろなどの細かいつぶ	でい岩は、どろなどの細かいつぶが押し固められてできた岩石です。
問13	答え でい岩	どろなどの細かいつぶが固まってできた岩石をでい岩といいます。
問14	答え 火山灰の層	火山の噴火によってふき出された火山灰などが風に運ばれて積もってできた地層を、火山灰の層といいます。
問15	答え 湖	火山から流れ出たよう岩が川をせき止めることで、水がせき止められて新しく湖ができます。
問16	答え 海底で地震が起こること	津波は、海底で地震が起こることによって、海水が高い波になっておしよせる現象です。